

三鷹市立大沢台小学校 令和5年度【社会】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第3学年	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家見学や地域の文化財を生かした授業を取り入れたことで、意欲的に学習に参加できた。 ・学習用タブレット端末を取り入れてパンフレットにまとめて見合ったり、ポスターにまとめて発表したりすることで、まとめ方を学ぶことができた。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の地図を確認する機会は多かったが、東京都や全国にも着目していく必要がある。 	<p>〈学習状況の現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習用タブレット端末を活用して、地域のことを調べたり、地域の地図を見て読んだりする力は付いてきた。一方で、地図帳を活用して方位や地図記号などの地図を読み取る力が不十分な児童がいる。 ・基本的な表やグラフの読み取り方は理解できているが、資料から何が分かるかななどの深い読み取りはまだできない児童がいる。 ・学習したことをまとめる経験が少ないため、どのように記述してまとめていけばよいか戸惑う児童がいる。 	<p>〈指導方法の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活科の町探検や総合的な学習の時間の体験学習等を通して、地域に対する意識は高めることができているが、地図を読み取ることに苦しさを感じている児童がいる。 ・表やグラフから何が見えてくるか、資料を読み込む時間を十分に取れていない。 ・学習したことを新聞としてまとめるときに、書き方の指導が不十分であった。 <p>〈授業改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八方位や地図記号を読み取る力を付けるために、学習内容と関連付けて地図帳を活用する時間を多くもつ。 ・表やグラフ等を資料をじっくり読み込む時間を確保し、分かったことを交流していく。 ◎単元のまとめの際に、学習したことをまとめる方法（新聞、パンフレット）の指導を重ねていく。書き上げた作品は、友達同士で読み合ったり紹介したりできるように時間を設ける。
第4学年	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入の工夫を行ったことで、自分の問いをもたせることができた。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解したことを記述する時間をとり、言葉かけを行ったが、自分で記述することへの苦手意識が強い児童がいる。 	<p>〈学習状況の現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた資料から、必要な情報を読み取ることができない児童が多い。 ・問題を解決するために、学習用タブレット端末を活用して情報を収集することに慣れてきた。 ・自分の考えを書くことはできるが、内容の深まりには差がある。 ・自分たちの住んでいるところ（市や都）には、どんなものがあるのか、よく知っている児童とそうではない児童がいる。 	<p>〈指導方法の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を解決する際に、学習用タブレット端末を活用することが多いが、資料から調べる機会を増やした方がよい。 ・自分の考えと友達の考えを比べる時間を十分に確保できていない。 <p>〈授業改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べる時間や発表する時間を十分に取り、地図や各種の具体的資料に触れる機会を多くする。 ・知識を確実に定着させるために、具体的な資料を使って必要な基礎知識の指導を繰り返すし、理解を図る。 ◎友達との対話によって、学習内容や資料の読み取り方、まとめ方などの学習の仕方を共有し、高められるようにする。また、そのための時間を確保したり、交流活動を行ったりできるようにする。
第5学年	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じっくり調べたり資料を読み取ったりする時間を確保することで、ノートを整理する力が高まった。 ・ICT機器を用いて資料提示をする、課題に対して前向きに取り組めた。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人差は大きく、情報量の多さに苦しむ児童もいた。見る範囲を指定すると前向きに取り組めたが、主体的というのは難しい。 	<p>〈学習状況の現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書や地図帳など、紙ベースの資料からの読み取りが課題である。 ・グラフの数値の読み取りはできるが、そこから何が分かるのかということまでは考えることができない児童がいる。 ・学習用タブレット端末を活用すると、意欲的に調べ学習を行うことができています。 ・インターネットの資料を探すことはできるが、自分が必要なことを選び、自分の言葉でまとめることは課題がある。 	<p>〈指導方法の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に出てくる表やグラフなどの資料の読み取り方を全体で確認する必要がある。 ・自分の考えをまとめる場面や時間を保障する必要がある ・課題に対しての必要な資料の選び方について指導する必要がある。 ・学習課題を児童にとって身近なものにしていく必要がある。 <p>〈授業改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な資料を読み取る機会を多く設定し、資料の具体的な読み取り方を繰り返し指導する。 ◎教科書を基に、課題と結び付けて要点を整理する時間を設ける。 ・自分の調べたい課題を明確にさせ、どのような資料が必要なのか考えてから調べるよう指導する。 ・学習課題を身近な場面から設定したり、まとめの際に身近な場面と結び付けられるよう提示したりすることで、主体的に考えられるようにする。
第6学年	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフから分かることを見付け、複数の資料と関連付けて考えることができた児童が増えた。 ・歴史の学習では、調べ学習を多く取り入れたことで、主体的に学ぶことができた。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習では、自分が必要としている情報だけを抜き取ることを苦手としている児童がいる。 	<p>〈学習状況の現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の中のどの情報を見たらよいか、またその資料の読み取り方に困難さを感じている児童がいる。 ・表やグラフから事実を見付けることができるが、そこから自分の考えにつなげることが難しい。 ・事象に対して自分の考えを付け加えたり、授業内容を工夫をしてノートにまとめてたりする児童が増えてきたが、個人差が大きい。 ・学習用タブレット端末を活用することで、より学習理解を深めることにつながっている。 	<p>〈指導方法の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の生活からは想像できないことが多いので、なるべく身近なものになるように教材を示していく必要がある。 ・手本となるノートを提示し、どのようにノートにまとめるべきか、丁寧に指導する必要がある。 ・自分事として考え、学習課題を設定することができるようにその機会を多く設定する必要がある。 <p>〈授業改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治・歴史分野共に、教科書や学習用タブレット端末等から自分が調べたいことを調べ、自分のためのノート作りを定着させる。 ・資料の読み取りが苦手な児童には、ある程度資料を指定して資料に慣れさせ、理解ができるように指導する。 ・自分の考えをもてるよう、個人やグループで検討したり、学習用タブレット端末を使って調べた内容を学級で共有し合ったりする場面を設定する。 ◎「なぜ、どうして、こうなっているのか」等の発問をして、児童なりの考えや理由を述べる機会を適宜設定する。